

熊 地 区 防災のお知らせ



熊地区自主防災会
救出救護部

『 高齢者・障がいのある方を支援しよう 』

1. 熊地区初めてのヒヤリングを実施して

熊地区自主防災会は、昨年9月～11月にかけて要配慮者32名のお宅を訪問しました。訪問したスタッフは、地区委員、民生児童委員、救出救護部員他の役員です。

ヒヤリングの際、どのお宅もスタッフに、とても協力的で防災に関する意識も高く、色々対策処置がされていることも分かりました。

今後の防災活動のあり方に対して有意義なご意見、お話が出来たことをうれしく思い、私たちの活動の参考にしていきます。

ヒヤリング内容の一部

- 刈谷市発行の「わが家の災害対策」(2015.年3月発行)
(保存版)を持っていますか? ⇒持っている : 12名
- 家具の転倒防止をしていますか? ⇒タンスの固定他: 19名
- 感震ブレーカーを知っていますか? ⇒知っている : 20名
- 一時避難場所を知っていますか? ⇒知っている : 18名
- 防災に関して心配なことは何ですか? 等々



2. 要配慮者への心配り

1. 日頃からの交流

- まずは、あいさつ
- 困りごとを聞き出す
- 防災・民生委員との情報交換



2. ご本人の防災力の向上

- 自力での消火や避難を支援
- 地区の避難活動を知らせる



3. 要配慮者の身になって点検

- 情報が伝わるようにする
- 車いす、担架等の点検
- 避難所までの危険箇所の点検



4. 地区の支援、体制の具体化

- 要配慮者の特定
- 救護担当者を複数決める
- 防災点検(化判シグ)を定期的に実施



3. ヒヤリングを終えて・・・”日頃からの地域の結びつきが、大きな力を発揮します。”

今回は、一人暮らしの高齢者の方、目の不自由な方、車いすを利用している方を中心に訪問させていただきました。

要配慮者の方はすぐ近くに見えます。災害が発生したら、要配慮者の方を救護できる活動を始めましょう。『近所同士』助け合えるまちづくりをみなさんと一緒に進めましょう。

1.熊地区初めてのヒヤリングを実施して

熊地区自主防災会は、昨年9月～11月にかけて要配慮者32名のお宅を訪問しました。訪問したスタッフは、地区委員、民生児童委員、救出救護部員他の役員です。

ヒヤリングの際、どのお宅もスタッフに、とても協力的で防災に関する意識も高く、色々と対策処置がされていることも分かりました。

今後の防災活動のあり方に対して有意義なご意見、お話が出来たことをうれしく

ヒヤリング内容の一部

- 刈谷市発行の「わが家の災害対策」 (2015.年3月発行)
(保存版)を持っていますか? ⇒持っている : 12名
- 家具の転倒防止をしていますか? ⇒タンスの固定他: 19名
- 感震ブレーカーを知っていますか? ⇒知っている : 20名
- 一時避難場所を知っていますか? ⇒知っている : 18名

- 2.要配慮者への
- 刈谷市発行の「わが家の災害対策」 (2015.年3月発行)
(保存版)を持っていますか? ⇒持っている : 12名
 - 家具の転倒防止をしていますか? ⇒タンスの固定他: 19名
 - 感震ブレーカーを知っていますか? ⇒知っている : 20名
 - 一時避難場所を知っていますか? ⇒知っている : 18名
 - 防災に関して心配なことは何ですか? 等々

1. 日頃からの交流

- まずは、あいさつ
- 困りごとを聞き出す

3. 要配慮者の身になって点検

- 情報が伝わるようにする
- 車いす、担架等の点検

2. ご本人の防災力の向上

- 自力での消火や避難を支援
- 地区の避難活動を知らせる

4. 地区の支援、体制の具体化

- 要配慮者の特定
- 救護担当者を複数決める

3.ヒヤリングを終えて・・・”日頃からの地域の結びつきが、大きな力を発揮します。”

今回は、一人暮らしの高齢者の方、目の不自由な方、車いすを利用している方を中心に訪問させていただきました。

要配慮者の方はすぐ近くに見えます。災害が発生しましたら、要配慮者の方を救護できる活